

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP) for Promoting International education

環境への意識を高め、地域への思いを深める生徒の育成

1 Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校では、これまで、環境教育は各教科で取り扱ったり、資源回収等の行事や生徒会活動のなかで行ったりしていたが、生徒にとっては、その単元や行事が終われば終了してしまう、単発的な教育活動であった。そこで、2010年度から、研究テーマを「環境への意識を高め、地域への思いを深める生徒の育成」とし、全学年の総合的な学習の時間に、環境教育の視点を取り入れ、系統性をもたせた。さらに、めざす子ども像を「自ら獲得した知識や考えをもとに、環境（暮らしている地域、自分たちとかかわり、つながっていくもの・こと・ひとすべて）という目で学びをつなげ、地域を理解して、地域への思いを深める子ども」とし、子どもたちに、社会の当事者として「地域」にかかわっていく能力を育んでいきたいと考えている。これはまさに、地域とともに地域から学ぶ持続可能な社会づくりの担い手を育む教育（ESD）の推進をねらうものである。

具体的には、校区にある汐川干潟に関わる活動を中心にカリキュラムを作成し、実践を行っていくこととした。このカリキュラムを基にした実践を継続していくことで、将来にわたって自分の住んでいる地域に愛着をもち、地域のために役に立ちたいと考える人材を育てていくことができると考える。

2 Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、暮らしている地域、自分たちとかかわり、つながっていくもの・こと・ひとすべてを「環境」ととらえ、これら「環境」と関わり、よりよくするための方策を考え実行することを通して、将来の持続可能な社会づくりの担い手を育むことができる（ESD）と考えている。

そのために、本校では校区にある汐川干潟に関わる4つの学習活動で、次の目標を掲げている。

(1) 故郷の自然環境のすばらしさに気づく活動

小学校区対抗「ふるさと自慢」を行い、ふるさとである章南に対する関心や中学校での総合への興味関心を高める。この活動によって、子どもたちは協調性を育むことができる。

(2) 汐川干潟の価値を知る活動

汐川干潟という場所の存在を知り、日本の重要干潟として指定されている理由を探る。この活動によって、子どもたちは主体性・論理性を育むことができる。

(3) 汐川干潟を守る活動

観鳥会やクリーンアップ作戦、専門家からのインタビュー等を通して汐川干潟の今後の保全活動のあり方を考え、発信する。この活動によって、子どもたちは主体性・論理性・協調性を育むことができる。

(4) 持続可能な汐川干潟保全活動

今までの環境についての学習を振り返り、今後も引き続き汐川干潟を保全するために自分たちができることを考え実行したり、考えを発信したりする。この活動によって、子どもたちは主体性・論理性・協調性・創造性を育むことができる。

3 Execution (プロジェクトの実施)

本校区には日本の重要干潟として指定を受けている汐川干潟がある。汐川干潟の価値を認識し、保全活動を行うことを通し、地域にすすんで貢献できる人材を育てたいと考えている。

(1) 活動を進めるためのESDカレンダー (総合的な学習の時間)

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生		●小学校区対抗 ふるさと自慢					●汐川干潟観察会			●観鳥会	
2年生			●観鳥会		●保全活動				●汐川干潟クリーンアップ作戦		
3年生					●汐川干潟クリーンアップ大作戦 (地域とともに持続可能型で)						

(2) 故郷の自然環境のすばらしさに気づく活動【1年生】

本校の生徒は老津小学校区と杉山小学校区から通学している。それぞれの校区のすばらしい「もの、こと、ひと」を発表し合い、お互いの考えを聞き合い、相手の意見を尊重しながら章南地区のよさを確認する。生徒は2校区に共通する自然環境のすばらしさに気づき、汐川干潟に注目する。



(3) 汐川干潟の価値を知る活動【1年生】

校区にある汐川干潟の存在や場所を知り、実際に出向き、冬の渡り鳥が飛来している様子を観察する。なぜ、汐川干潟は全国でも有数の干潟とされているのか、その特異性や貴重な自然であることを追究する。追究はインターネットや書籍にたよるのではなく、地域で暮らす人や、実際に保全活動にのりだしている人にも出会って取材する。これらの情報を総合的・多面的に考え、汐川干潟の価値を認識する。



こんなところに「カワセミ」が

(4) 汐川干潟を守る活動【2年生】

1年生で汐川干潟の価値を認識した2年生は、夏の渡り鳥の観鳥会を行い、干潟の恩恵にあずかる鳥たちの様子を目の当たりにする。一方、漂着物が水辺にうずたかく打ち上げられている様子に問題意識をもち、クリーンアップ作戦（ごみひろい）を行ったり、外来性植物ヒガタアシの繁茂を阻止するべく駆除活動を行ったりして、汐川干潟の現状をとらえ、持続可能な保全活動の方法を考えはじめる。



駆除活動後



(5) 持続可能な汐川干潟保全活動【3年生】

1～2年生で学習してきたことを振り返り、自分たちだけでなく章南校区に住んでいる人たちと汐川干潟を保全する活動ができないか具体的に考える。クリーンアップ作戦を校区によびかけるため、校区民の多く集まる公民館や駅、農協にポスターを貼ったり、小学校へも足を運び、児童に干潟保全の重要性を訴えたりして、課題を解決し実践する。実践したことを校内・地域はもとより全国に向けて発信する。



4 Type of materials to be used (使用する教材)

双眼鏡 デジタルカメラ 軍手 長靴 スコップ ごみ袋

PC OHC テレビ 模造紙

「環境事典」2008年11月5日発行 編集：日本科学者会議 発行所：株式会社 旬報社

「学校環境教育論」2010年5月発行 著者：小玉敏也 福井智紀

出版社：株式会社 筑波書房

「環境教育」2012年12月発行 著者：日本環境教育学会 出版社：教育出版

5 Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

●授業ごとの自己評価

子どもたちは毎授業終了時に、今日の授業をふりかえり、気づいたことや感想をまとめる。教師はこの記述から子どもの育ちをみとる。

●単元ごとの自己評価

子どもたちは毎単元終了時に、今回の単元で書きためた授業感想やワークシート、調査資料、活動の記録等を読み返し、単元まとめを作成する。この単元をふりかえる作業の後、4つの能力・態度について子どもたちが自己評価する。

●環境教育全般に対する客観的評価

年度途中と年度末にアンケート調査をし、子どもたちの4つの能力・態度がよい方向に伸びているのかどうか客観的手法によって評価する。

注) 4つの能力・態度

主体性	<ul style="list-style-type: none">・問題解決に向けてすすんではたらきかけることができる。・自分の考えに責任をもつことができる。
論理性	<ul style="list-style-type: none">・情報を正確にとらえ、それをもとに総合的・多面的に考えることができる。・根拠をもとに、相手を納得させたり、建設的に批判したりすることができる。
協調性	<ul style="list-style-type: none">・相手の考えを理解、尊重できる。・友達とすすんできかわり、協働的に問題解決できる。
創造性	<ul style="list-style-type: none">・美的なものを感じとり、表現することができる。・情報から解決するための予想を立て、計画することができる。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

25/2/2013

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (役職) Principal

Institution's name (学校名)

Toyohashi municipal SHONAN junior high school